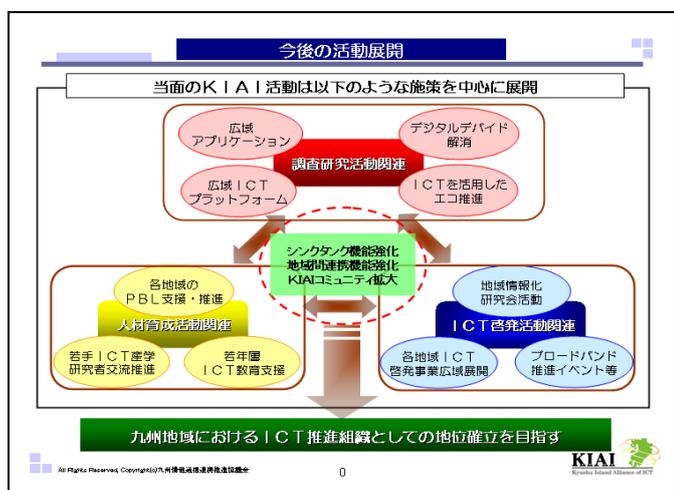


平成20年度事業計画（案）について

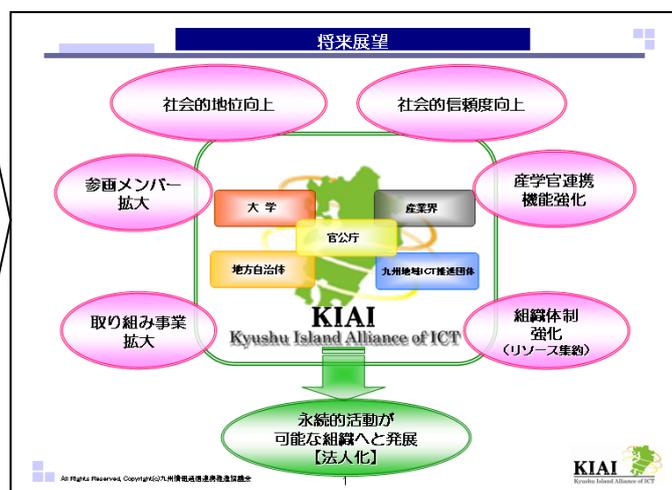
【中期的活動基本方針について】

九州におけるICT産学官連携推進組織としての地位を確固たるものとしてくいたため、平成20年度以降、当面（中期的）のKIAI事業の柱を、①調査研究事業、②人材育成支援事業、③啓発関連事業の3部門に集約し、個々の具体的な事業に関しては、KIAI自らが企画・主催する事業、各地域事業の広域展開支援、といった2つの方向からのアプローチにて実現していくものとする。

【中期的展開イメージ】



【長期的展開イメージ】



平成20年度事業計画

(1) 調査研究事業

「九州広域における危機管理情報に即応するICT基盤技術並びにサービスプラットフォームの在り方に関する調査検討」

九州においては、台風等の自然災害、さらには昨今の鳥インフルエンザ等、広域に及ぶ危機管理情報への即応が大きな課題となっており、KIAIとしても、このような分野におけるICTの更なる効果的活用方法について幅広く検討していくことを、今後の調査研究事業の大きな柱としたいと考える。

このような中、九州総合通信局においては、防災分野をはじめとした九州広域に及ぶ地域社会の安心・安全に直結する様々な情報に関して、ICTを活用した正確かつ迅速な情報入手とその共有化を図る新たな情報通信プラットフォ

ーム構築の在り方に関する調査研究が、平成20年度に実施されることとなっている。本調査研究は、K I A Iにおける今後の調査研究事業を本格化していくための大きなトリガーになると思われるため、平成20年度における取り組みとしては、この九州総合通信局実施の調査研究メンバーとして積極的に参画し、調査検討を進めていくことを主体とする。また、併せてこれまでJGN II九州広域接続実験にて展開を進めてきた、W I D I Sシステムを活用した広域防災情報共有化についても、次世代高度ネットワーク九州地区推進協議会とも連携し、九州内での具体的推進体制構築を含め、更なる展開が図れるよう検討を進める。

(2) 人材育成支援事業

「九州ICTオープンスクールの開催」

九州内の大学生、大学院生が、個々の取組課題、研究内容について、地域の様々な産学官関係者に対して発表するオープンスクールを19年度に引き続き開催する。本オープンスクール実施を通じ、学生間の連携・コミュニティ形成促進、並びに地域企業関係者との交流等による九州内若手ICT研究者の新たな人材育成の場創出を図る。

「K I A I事業を通じたPBL展開」

K I A I事業実施の中で、PBLの要素を含めたプログラムも適宜盛り込み、参加可能な大学～企業間で、実施展開していく。なお、実施に際しては、これまで九州内でのPBL事業をコーディネートしてきた九州経済連合会とも連携し、より効率・効果的に進めていく。

(3) 啓発関連事業

「九州地域情報化研究会の実施」

デジタルデバイドの解消やICT人材育成など、情報通信分野における地域が抱える課題に関するワークショップを実施。(昨年度佐賀県で開催)

「総会記念シンポジウム開催」

国における情報通信施策の動向に関する講演のほか、20年度の調査研究実施に向けてのトリガーとなるような、広域的ICTプラットフォームと地域社会の安心・安全に関するパネルディスカッションを実施予定。

「九州JGN2 plusシンポジウムとの合同シンポジウム開催」

次世代高度ネットワーク九州地区推進協議会とタイアップし、調査研究事業をはじめとしたK I A Iによる九州広域の情報化推進活動報告に関するプレゼンと、JGN2 plusをベースとしたICT研究開発動向紹介等を併せた幅広い観点からの啓発イベントを実施。

(4) その他

「九州各地域におけるK I A Iコミュニティ形成促進」

発足時に協力・支援いただいた地域・機関以外の関係者（主に長崎県、熊本県、鹿児島県対象）に対しても、K I A I事業を理解してもらうとともに、新たなコミュニティ形成に向け、積極的な交流活動を展開していく。

「九州各地域 I C T組織（K I A I会員含）事業の広域展開支援」

各地域において実施する上記（1）～（3）相当の事業に関して、必要に応じ、適宜事業の広域展開を支援し、K I A I主催事業を含めた九州地域における I C T関連事業の幅広い浸透を図る。